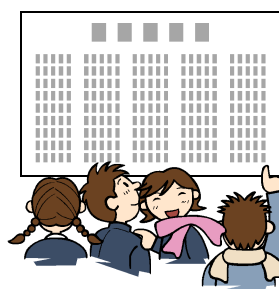


私立高校選びはけっこう大事～夏の三者面談前に家族で話そう～

今年は短い夏休みにはなりますが、夏休みが終われば、学力分析テスト、そして第1回到達度テストが10月、第2回到達度テストが11月に、自分の進路を決めていく重要なテストが続きます。当然、12月の進路決定の三者面談に向けても大切なテストです。7月30日からの夏の三者面談では6月の学力分析テスト結果や一学期の成績等を参考に担任の先生と志望校について話しをしたいと思います。まだ漠然としていて、どの方向に進むか、何をやりたいのか等迷っている人も多いと思います。でも、自分の進路目標を決める時期になってきました。第1回進路希望調査や個人面談でもそうですが、第1志望の公立高校についてはすでに決めていて親子ともに意見が一致している人が多いように感じました。でも私立高校については、決めきれていなかったり親子で意見が違っている人が例年多いように思います。これは・

- ①第1希望は公立高校だから、どうせ私立には行かないから・・・
- ②私立高校は数が多くて、どこにしているのかわからない・・・

という理由があるからかもしれません。①の理由の人は、公立高校を第1希望としている人、私立には行かないと決心している人でしょう。でも「100%」という保証がないのが入試です「一発勝負」で良い結果が出せればいいのですが、緊張をして実力を出せないということもあるでしょう。そういった理由で安心して公立高校を受験できるようにと、例年公立高校を第1志望とする人のほとんどが私立高校を受験しています。



もしかしたら行くことになるかもしれない私立高校ですから、そういう意味では、「どうせ行かないから」と適当に選んだり、「すべり止めだから」という安易な気持ちで選んだりするべきではありません。

「公立の第1志望」「筑後地区私立の第1志望」「日田地区の第1志望」というような考え方で高校を選ぶことをすすめます。「落ちたから次」ではなく、**すべてが第1希望**、「できれば公立がいいが、自分が選んだ高校の中から私立でもどこへ行ってもがんばれる」という決意が大切だと思います。

さて②のような場合の人は、自分の個性を生かして、自分の夢の実現のために一番合っている高校は・・・？という考え方で決めていくのも一つの方法です。浮羽中は交通の便が良いとは言えないので、どうしても日田地区、久留米地区の私立高校が中心になります。それだけ選択できる高校が少ないということです。だからこそ、よく高校のことを知り自分に合った高校を選んでください。一学期、そして夏休みを充実したものにするためにも、しっかりと自分の進路と向き合い、自分の目標を家庭でよく話し合ってください。そして、まずは一週間後の期末テストに向けて必死に努力をしてください。その頑張りが進路実現に繋がっています。

□生徒との個人面談を行っています！

6月中旬から昨年度に続き、3年生との個人面談を昼休みに行っています。今年は幸いなことにコロナウイルス感染症拡大防止のため、例年の出張がなく時間がとれています。一人10分から15分をかけて行っています。少し時間はかかりますが、3年4組まで、じっくりといきたいと思います。面談では家庭学習時間や現在の志望校、将来の夢、勉強の不安、高校の情報等、様々なことを話しています。まだまだ志望校を明確に決めている生徒は少ないですが、家庭学習時間が増えている生徒や気持ちに変化が出てきた生徒、将来の夢がはっきりとある生徒、様々です。私は楽しい時間を過ごさせてもらっています。これから面談の人は、自分の聞きたいことを整理しておくといいですね。

